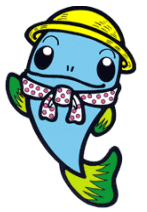


伏黒出張所タイムズ



Vol.24
(H26.3.13発行)

何のための工事? どんな工事をしているの?

伏黒出張所管内・阿武隈川 河川工事を見よう!

鎌田地区の河川改修工事

● 河岸の掘れた箇所を護岸で補修します

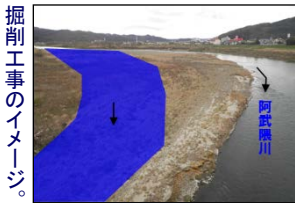
【目的】 河岸を護岸（かごマット）と木製の根固めで補修します。

【効果】 洪水等により掘られた河岸を護岸で補修し、洗掘防止対策を図ります。

● 河川敷の掘削を行います

【目的】 右岸側河川敷の掘削を行い、水が流れるように整正します。

【効果】 左岸側の河岸洗掘の進行を抑えるために、河川敷を掘削して右岸側の水が流れるよう対策を図ります。



掘削工事のイメージ。



渡利第6樋管の改修工事

● 樋管の敷高を下げて水路を大きくします

地域の皆様からの要望を受け、県道岡部渡利線の国道4号ガード下における浸水対策として渡利第6樋管の改修工事を行っています。

【目的】 住宅地側からの水をスムーズに阿武隈川へ排水させるために水路を大きくします。

【効果】 大雨等による浸水被害を軽減させます。



堤防に埋設している樋管を約1.47m下げ、県道から川側へ自然な排水が可能になります。

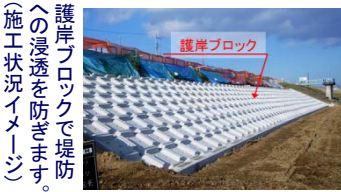
渡利第6樋管の工事の様子

伊達地区の堤防整備工事

● 堤防をコンクリートブロックと矢板で補強

【目的】 堤防の川側法面をコンクリートブロックと矢板で補強します。

【効果】 洪水等により堤防内へ浸透する水を遮断・抑制することで、堤防の強化を図ります。



護岸ブロックで堤防への浸透を防ぎます。(施工状況イメージ)



【凡例】 ■: 施工予定箇所

紹介している工事以外にも荒川第14帯工、梁川地区、東根川地区などで8つの河川工事が行われています。工事期間中は工事施工箇所周辺におきまして、工事関係車両の通行及び建設機械による作業を行いますので、近隣住民の皆様や地域の皆様にはご理解とご協力をお願いします。

安全コンサルタント点検を実施

1月22日に「安全コンサルタント点検」が実施され、施工現場における環境の安全を確認しました。当日は労働安全コンサルタントが立会い、各現場を伏黒出張所の職員、施工会社のスタッフが合同で点検。労働安全・労働衛生に考慮した工事ができるよう、アドバイス等をいただきました。



工事事故の防止を図るため、定期的な安全コンサルタント点検を行っています。

渡利地区 堤防除染工事が完了しました

福島市ふるさと除染実施計画に基づき、平成25年9月3日から福島市渡利地区の阿武隈川右岸堤防（通算延長2.9km）で行われていた除染が12月21日に完了しました。除染が行われた住宅地に面した堤防では、空間線量率が平均値で半減、表面線量率は全ての箇所ですべて0.23μSv/h以下となりました。住宅除染の一環として実施した堤防の除染により、堤防が原因となる放射性物質については効率的に除染できたものと考えております。詳しい線量測定結果等は、福島河川国道事務所HP (<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>) をご参照ください。



アタッチメント付きバックホーにより堤防斜面の表土を5cm剥ぎ取りました。



表土剥ぎ取り後に堤防斜面の整形を行ってから、張芝による保護を行いました。

桜つつみ河川公園 案内看板をリニューアル

福島市吉井田地区町内会連合会が桜つつみ河川公園にある看板をリニューアルしました。荒川と阿武隈川の合流点から荒川第5堰堤までの大きな空撮写真が目を引く新しい看板では、荒川周辺の名所や歴史を分かりやすく紹介しています。

平成25年12月18日には地域住民の皆さんや行政関係者が集まり除幕式を開催しました。伏黒出張所の郷家所長も除幕式に参列して、参加者の皆さんと一緒に完成を記念しました。



▲看板は水質日本一の荒川を守るために活動している「ふるさとの川・荒川協議会」が企画。福島市が製作を手がけました



荒川ミュージアム スタンプラリー開催

「ふくしま荒川ミュージアム推進会議」では、平成26年3月16日(日)まで荒川の自然や周辺施設を巡るスタンプラリーを開催。荒川資料室や道の駅「つちゆ」など7カ所のチェックポイントを設置しました。今後も「ふくしま荒川ミュージアム推進会議」では地域の皆さんに楽しんでいただけるよう、荒川流域の魅力を発信できる取り組みを行う予定となっています。



▲41名の操作員が参加した福島地区会場。質疑応答では活発な意見が出されました

講習会に参加された水閘門操作員の皆様ありがとうございました

伏黒出張所管内の水閘門操作員による講習会を1月24日(伊達地区)、1月30日(福島地区)に実施しました。水閘門操作員は出水時に災害を未然に防ぐため、水門(樋門・樋管)を操作する重要な役割を担っています。災害時に迅速かつ正確に操作ができるよう、業務や操作要領、点検等について再確認しました。

水閘門操作員の講習会を実施



▲福島地区の講習会では、菊地技術係長が伏黒出張所管内で施工中の工事状況を説明しました

▶伊達地区の会場
で挨拶を行う郷家所長



▼伊達地区の講習会の様子。操作員の皆さんは点検業務や出水時の出動に備え、熱心に受講されました



▲流出箇所の現場確認(写真上)とオイルフェンス設置の様子

河川への油流出にご注意ください!

1月24日に摺上川の新十綱橋付近(福島市飯坂町)で油の流出事故が発生。福島河川国道事務所では災害対策支部「注意体制」を設置して阿武隈川への流入を防ぐため、摺上川下流の幸橋周辺にオイルフェンスを設置しました。

寒い時期は暖房等の使用が増え、一般家庭や事業所から灯油類が河川へ漏れ出す流出事故が起きやすい季節です。事故防止のためにも、日頃から灯油類の管理・取扱いには十分にご注意ください。

《お問い合わせ》

国土交通省 福島河川国道事務所
伏黒出張所
〒960-0502 伊達市箱崎字中32-1
TEL025(583)3233 FAX024(551)2337
<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

★川や堤防の異常・変状などを発見されましたら、お手数ですがご連絡をお願いします。